

下恵土地区懇談会（各種団体長懇談会）での主な意見と回答

日 時 平成28年5月21日（土）午後5時～午後7時

場 所 下恵土公民館

出席者 45人

市長による講演「住みごこち一番・可児 かに暮らし情報発信元年」の後、質疑応答が行われました。

【質問】人口減少の原因の一つとして、経済的な事情から子どもを生まにくいということがあるのではないかと。そうした点も踏まえて人口減少への対応を考えていく必要がある。

【回答】子どもを生まない理由は家庭によってさまざまですが、アンケート調査の結果では、生みたいのに生めない理由で最も多いのは、夫が育児に協力してくれないということでした。そこで市では、従業員の子育てを応援する企業と連携して、そうした企業やその取り組みをPRする仕組みを検討中です。従業員が自分や家族の時間を大切にしながら働くことができる市内企業を増やすことで、子どもを生き育てやすいまちにしていきたいと考えています。

【質問】自治会を退会したいという人が増えており、対応に苦慮している。市で自治会加入に関する問い合わせなどを市民から受けた場合は、加入を促すような対応をきちんとしてほしい。

【回答】市としても任意団体である自治会への加入を強制することはできませんが、現在も転入者に自治会加入を勧めるチラシを配布するなどしています。今後も問い合わせに対しては自治会の必要性などをきちんと説明するよう、改めて職員に徹底します。

【質問】市民の健康づくりや医療費削減のために、公園に運動器具を増やしてはどうか。

【回答】現在、坂戸の運動公園内に散策路と運動器具を設置するなどしていますが、設置・維持管理に要する経費や安全性の確保などの課題もあります。

そこで市では「1・2・3・4で健康づくり」として、年1回の健康診断、1回30分で週2回のウォーキング、毎日3度のバランスの取れた食事、社会活動への積極的な参加の4つを推進しています。歩くことだけでも健康づくりにはかなりの効果があり、また安全かつ手軽に介護予防ができるK体操も新たにつくりましたので、今後普及に努めていきます。